メットライフ
全国代理店会連合会

株式会社ウメソー

〒733-0002 広島県広島市西区楠木町3丁目16−4−2

電話：082-238-2332

FAX：082-230-2442

ホームページ：https://www.umeso.co.jp/company/

代表取締役社長：梅田 正昭

アンカー 186 August 2026

ANCHOR



経済的豊かさ、心の豊かさ。ウメソーに関わるすべての人の豊かさを追求していきたい

株式会社ウメソー
代表取締役社長
梅田 正昭さん
［広島県広島市］

「共存共栄」
「二本・一」
すべては
お客さまの
ために！

One Dollar Donation

メットライフ
全国代理店会連合会

MetLife
メットライフ生命



The Top of EVEREST

E-clubのレジェンドを訪ねて vol.41

俳優業から転身し、ウメソー入社後わずか3年でMDRT成績資格会員を取得。株式会社ウメソー代表取締役社長 梅田正昭さんは卓越した営業センスと努力で好成績を達成し続け、後にMDRT終身会員となる。COT 3回。経営者としては常に先を読み、他社に先駆け新しいマーケットを創ることに尽力。会社のブランディングにも力を入れてきた。そのパワーとアイデアの源泉は、一体どこにあるのだろうか。

経営者の仕事は、先を読んで意思決定し、社員さんの輝ける場所を創っていくこと

株式会社ウメソー
代表取締役社長 **梅田 正昭**さん［広島県広島市］

1972年　広島県広島市生まれ
1994年　大学卒業後、単身渡米
　　アメリカ大陸横断、俳優デビュー
2000年　帰国。俳優、映画監督、
　　演出家などとして活躍
2009年　父・正彦さんが難病を患い、
　　後継者となることを決意
　　アリコジャパン直販社員として
　　1年間修行
2010年　株式会社ウメソー入社
2013年　MDRT成績資格会員取得
　　以降は毎年MDRTを達成
　　成績資格終身会員継続中
　　COT 3回
2015年　株式会社ウメソー
　　代表取締役社長に就任
　　メットライフMVP
　　ニューヨーク大会個人表彰第2位
2026年　メットライフ広島代理店会会長

趣味　ゴルフ、筋トレ
家族構成　妻、娘3人、犬（メス）
座右の銘　人間力は困難を面白がる力
　　人間万事塞翁が馬

『ANCHOR』のお客さまへの配布・配信・投影は禁止とします。
SNS等ホームページ以外の媒体への転載・記載は禁止とします。



理念を掲げ、価値観を共有し、「家業」から「企業」への転換

株式会社ウメソー代表取締役社長 梅田正昭さんの人生に転機が訪れたのは2009年、37歳の時だ。創業者である父・正彦さんが難病を患い、後継者となる決断を迫られた。大学卒業後アメリカで俳優デビューし、帰国後も映画などで活躍。会社を継ぐ気はなかった。

「父の病気は自分のせいだろうか…」。

半年間葛藤し、右も左もわからない保険の世界に飛び込むことを決断する。

梅田さんはまずは保険の基本を学ぶため、アリコジャパン（現メットライフ生命）の直販社員として1年間働くことにした。

「飛び込み、テレアポ、何でもやりました。俳優から保険の世界に飛び込んだ自分の決断を無駄にしたくなかった。だから絶対に結果を出すと決めていました。数字が足りず、親友を頼って東京に行ったことも。急いで説明した帰りの新幹線で親友から連絡があり“保険は安心を得るためのものなのにお前の説明じゃ安心できない”と契約破棄。頭をハンマーで殴られた気がしました。保険の意味を親友が教えてくれたのです」。

1年間の修行を糧に翌年ウメソーに入社、2015年には代表取締役社長に就任した。マーケティングに力を入れ、企業理念・経営理念を明確にし、ビジョン・ミッション・バリューを構築。価値観を共有することで、社員全員が同じ方向を向く企業を目指した。

「理念経営が社内に浸透する間、社員さんは戸惑いもあったと思います。ただ企業の成長は社長一人では成し遂げられません。企業理念に共感し働いてくれる社員さんがいてくれるから成長できるのです。今はどの社員さんも企業理念に共感し、責任感を持ってお客さまに向き合い成果も上げてくれています。全国330万社を超える中小企業の中で、ウメソーで働くことを選んでくれた社員さんには本当に感謝しています」。

ウメソーの企業理念は“豊かさの追求”だ。お客さまや取引先はもちろん、社員さんの経済的豊かさと心の豊かさも育んでいきたいと梅田さんは語る。

「安心して働けるように、ウメソーでは完全固定給制にしており、また、成果に応じて賞与という形で還元しています。さらに、自分が働く会社を誇りに思ってほしくて、マツダスタジアムにスポンサー看板広告を出しています。企業として規模を拡大することも大切ですが、ウメソーは人が育つ会社でありたい。社員さんと共に成長していきたいと思い、人的資本経営に取り組んでいます」。



常に先を読み、先見性のある判断でマーケットを創る

ウメソーでは父・正彦さんが掲げた「保険に差がつくワケがある」という言葉を大切にしている。差別化が難しい保険販売において、いかに付加価値を提供できるか、いかに人がやらないことができるかが、選ばれる理由になると考えているからだ。

「経営者は先見性を持ってマーケットと仕組みを創ることが仕事。お客さまのため、社員さんのため、常に一歩先のマーケットを考えるようにしています」。

2020年には相続専門の店舗をオープン。そして現在、力を入れているのは「世帯資産1億円達成プロジェクト」だ。

「長生きすることがリスクだなんて、絶対に思ってほしくない！ だから世帯資産1億円という大きな目標を掲げて、資産形成の大切さを伝えています。広島に資産を創出し、広島の未来に貢献できる企業でありたい」。



先人と社員さんに感謝。自分が進むべき道はウメソーにある

3年前に父・正彦さんが他界。気力が薄れ、経営への情熱を失いかけた時、一生懸命働いてくれる社員さんを見て、自分が進むべき道はウメソーにしかないと改めて気付く。

「ウメソーは創業45周年。私がレジェンドと言われるのはおこがましい。今のウメソーがあるのは父をはじめとする先人による礎と社員さんの努力、協力してくれるすべての関係者があってこそ。感謝しかありません。だからこそ、ウメソーに関わる全ての方の豊かさを30名の社員さんと共に追求し、100年以上永続する、広島になくてはならない最も選ばれる会社を目指していきます」。

思い出の品

初心を忘れずに、自分を奮い立たせるメダル

アリコジャパンでの修行時代、父や周囲に認めてもらいたいという一心で、月間ANP100万円以上・契約10件以上が条件の「ルーキーコンテスト」に毎月入賞し続けることに拘り続けました。これはその時の入賞メダルで、今もデスクの上に置いています。壁が現れた時に「あの時以上に辛いことはない」と自分を奮い立たせています。『人間の格』は、経営者になってさまざまな困難に直面した時に心の支えになった哲学書です。とても読みやすくハウツーもわかりやすいため、何度も繰り返し読んでいます。どちらも私に進むべき方向を示してくれる大切な道標です。



『ANCHOR』のお客さまへの配布・配信・投影は禁止とします。
SNS等ホームページ以外の媒体への転載・記載は禁止とします。